たましょうこ
玉小っ子
http://www. town. tamamura. ed. jp/tamamura-e/

令和5年度　玉村小学校
学校だより　第２３号
２０２４年２月２９日発行

まだまだ寒い日が続きます。今週から学習参観が始まっています。各学年とも６年生を送る会で発表したものをさらに磨きをかけて発表するようです。１年間の成長の跡を見ていただければと思います。６年生は卒業まで１か月をきりました。玉小で充実した毎日を送ることが中学校にもつながります。１～５年生も進級にむけて今できることを精一杯行っていきましょう。

感謝を伝え合う温かい時間　～6年生を送る会～

２月２２日(木)に６年生を送る会を行いました。(３年生は学級閉鎖のクラスがあるため、発表は３月１日に全校児童の前で行うことになっています。)　劇や合唱、パフォーマンス、呼びかけなど、各学年とも工夫をこらした発表でした。また、それに応える６年生の歌と合奏も素晴らしいものでした。

「６年生を送る会」には２つの目的があります。１つ目は、感謝を伝え合うことです。１～５年生は、６年生にこれまで玉小の中心として活動してきてくれたことへの感謝を、６年生は自分たちを育ててくれた玉小、下級生、先生方への感謝を伝えました。また、職員も６年生に感謝と励ましを込めて合唱をしました。

２つ目は、６年生から下級生、特に５年生へバトンを引きつぐことです。６年生は発表の中でも大切にしてほしい言葉をそれぞれの学年に贈りました。１年生には「思いやり」。２年生には「協力」。３年生には「メリハリ」。４年生には「挑戦」。そして５年生には「責任」です。最後の５年生のあいさつでは、「玉小を任せて下さい」という頼もしい言葉も聞かれました。

なめらかな接続のために　～幼保小中連携プログラム～

幼稚園保育園から小学校へ、小学校から中学校へと進むことは、楽しみでもありますが、不安なこともあります。それらの不安を解消し、希望をもってステップアップできるように、玉村町では幼保小、小中の連携を深めています。

４月から小学１年生になる年長さん。玉村小学校では、第一保育所とにしきの保育園の年長さんを招いて「なかよし交流会」を行いました。コロナ禍の影響でできなかったので４年ぶりの実施でした。１年生が年長と一緒に小校庭で外遊びをしたり、紙芝居を読んであげたり、一緒にゲームしたりしました。最後に玉小の校歌を元気な声で歌いました。年長さんも小学校に入学す

ることが楽しみになったと思います。また、１年生が年長さんの面倒をみる姿を見ると、１年間の成長を感じました。

６年生は４月から玉村中学校と南中学校に進学します。これまで、職場体験で来た中学生に中学校のことを話してもらい質問をしたり、中学校の入学説明会に参加したりしてきました。２月２８日には、両校の先生に来てもらい進学する学校に分かれて具体的な中学校生活の様子を説明してもらいました。映像などを交えて話してくれたので、それぞれの学校の様子もよく分かったと思います。また、中学校の先生も笑顔で話してくれたので安心できたと思います。質問にも答えてくれ、不安も和らぎ、中学校への意欲も高まったと思います。中学校の先生も、玉小の６年生の前向きな姿勢にとても感心していました。

地域の方の支援を受けて　～学校評議委員会～

地域の方に学校の様子を知ってもらい、地域の意見を学校経営に生かすために学校評議委員を任命しています。玉小では、区長代表、主任児童委員、地域の有識者の女性の方、学校ボランティアの代表、PTA会長、PTA顧問さんにお願いしています。年度当初に今年度の学校の方針等を説明する会議してから、運動会や玉小音楽祭などの行事の時には、来校していもらい子どもたちの様子を見てもらいました。２月２２日にも「６年生を送る会」を見てもらいました。その後、会議を行い、給食を食べてもらいました。

会議では、学校から１年間の教育活動の様子、先生たちの取組、地域との関わりなどをお話しました。また、情報交換では、地域での子どもの様子や玉小のよさ、改善していくべきことなどを話し合いました。学校評価では、毎年他の項目に比べ「あいさつ」「言葉遣い」が低くなる傾向があります。交通指導員をして下さっている評議委員さんや毎日登校時に通学路を歩いてくださっている評議委員さんから、「全員が自分からあいさつをするというわけではないが、そういう子どもも増えてきて、こちらからあいさつするとほとんどの子どもが気持ちよいあいさつを返してくれる」「４、５月頃より、だいぶよくなっている」というご意見をいただきました。先日、地域の方から「通勤中に横断歩道で止まってあげたら、気持ちよいあいさつをしてくれた」という声も届きました。今年度は５、６年生が中心となってあいさつ運動を盛り上げてくれました。先生たちも率先して子どもたちにあいさつの声をかけています。近頃は防犯上から、子どもから大人に声をかけることをしにくくなっているという声もあります。身近な大人からもどんどんあいさつをして、明るい地域をつくっていけたらいいなと思っています。

子どもの成長のためには、学校だけでなく、地域や家庭が理解し合い、協力していくことが大切であるということを改めて感じました。

＜玉小っ子の活躍＞

玉村町食育絵画コンクール	優秀作品	露崎 永真（４年）	
読書感想画コンクール佐波郡審査	入　選	井田 菜月（１年）	工藤 結里（５年）
	佳　作	杉田 陽葵（２年）	